

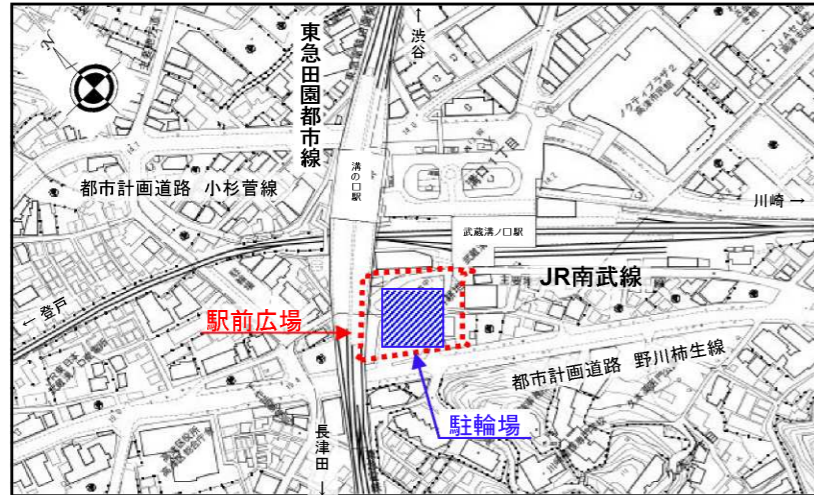
まちづくり委員会資料

溝口駅南口広場の駐輪場整備について

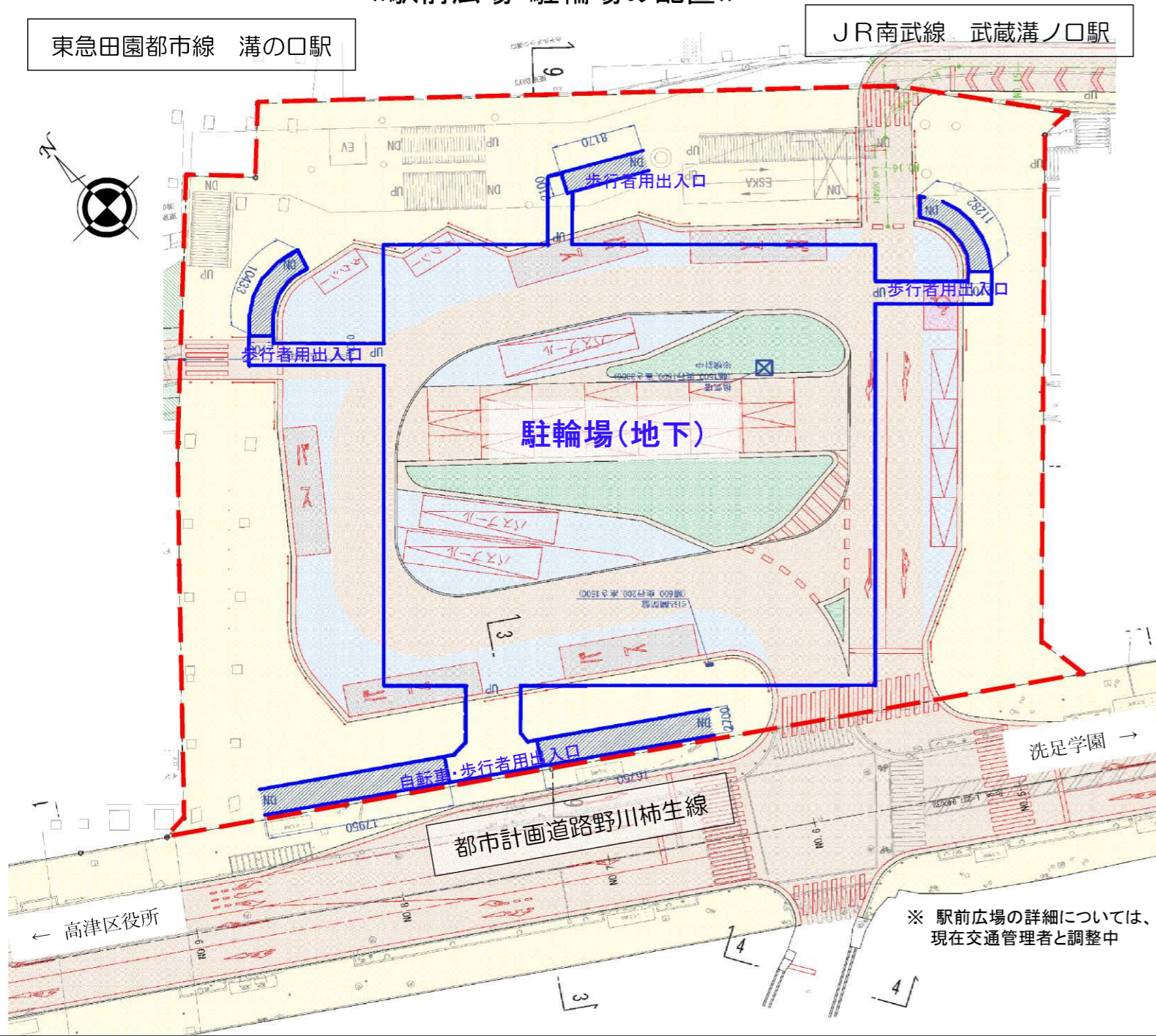
建設緑政局

1. 溝口駅南口広場駐輪場整備の概要

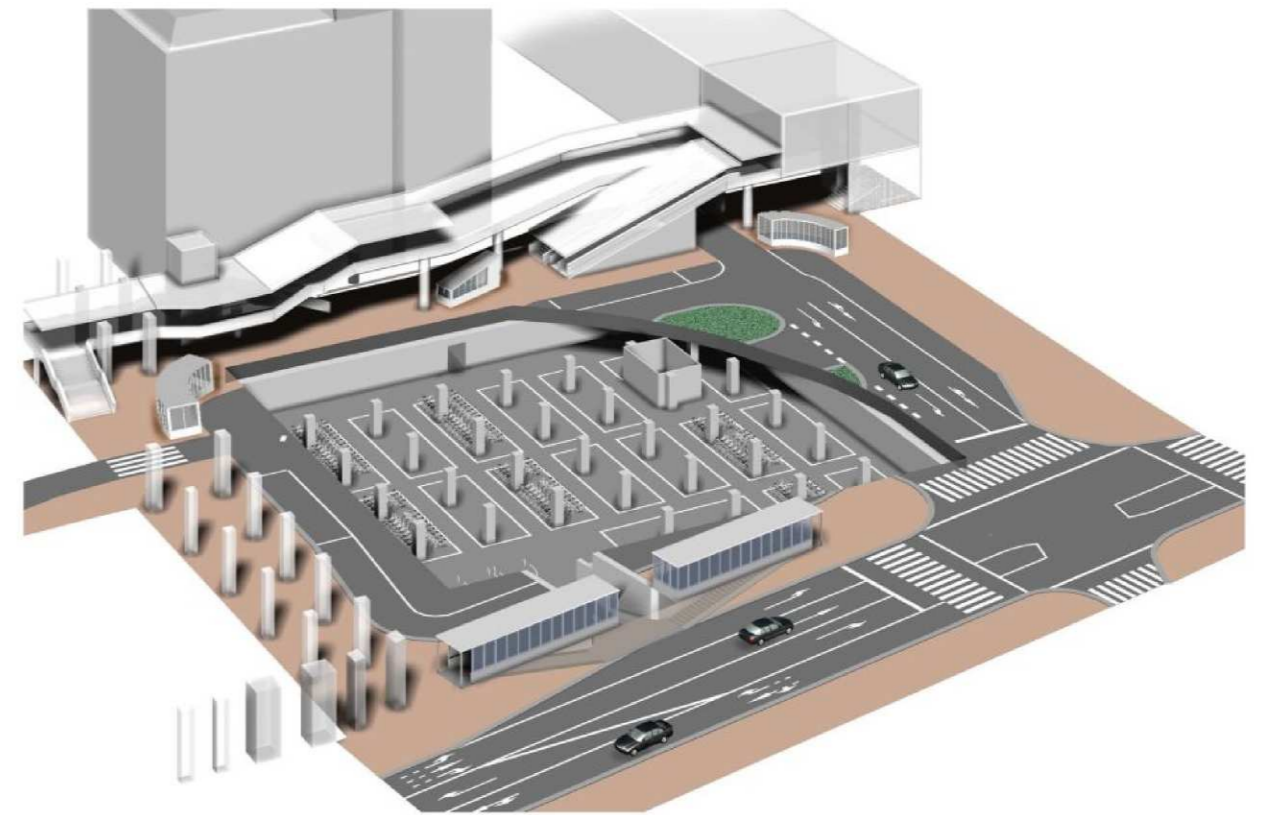
《駅前広場・駐輪場の整備位置》



《駅前広場・駐輪場の配置》



《駐輪場の整備イメージ》



【駐輪場の概要】

●構造形式	鉄筋コンクリート 地下1階
●施設面積	約2,300㎡
●収容台数	約1,900台(自転車のみ)
●入出庫方法	自走式、上り出口はベルトコンベア
●入出庫管理	機械ゲート方式
●駐輪方式	2段式ラック、一部区画は平置き

【これまでの経過】

平成21年度	溝口駅南口側における自転車の将来需要予測と整備計画の作成
平成22年度	南口駅前広場の駐輪場整備に向けた検討と概算事業費の積算
平成23年 8月～	駅前広場の地下駐輪場の設計・積算
平成23年10月	駐輪場予定箇所のボーリング調査実施
平成23年12月	仮設広場の関係者(バス事業者、交通管理者)との協議
～平成24年 3月	
平成24年 6月	詳細事業費の積算

※ 駅前広場の詳細については、現在交通管理者と調整中

2. 工事内容の見直しについて

(1) 見直しの主な要因

① 地質の影響によるもの 【図1】

平成22年度の駐輪場整備に向けた検討では、過去に駅前広場付近で行った地質調査データを基に検討を行いました。

平成23年度の設計では、仮設や駐輪場本体部の詳細な検討を行うため、工事区域内の地質をボーリング調査により直接確認を行いました。その結果、駐輪場の施工範囲には建物を支えられない軟らかい地層が、当初の見込みよりも深い位置まであることが、判明しました。

② 工事期間中の安全対策によるもの 【図2】

現在の駅前広場予定地には暫定のバスロータリーがあり、多くの利用者がいることから、工事期間中も機能を確保する必要があります。

平成22年度の検討では、地上や地下など駐輪場の配置や構造などいくつかの方式を比較して選定を行うことから、仮設については各方式とも標準的で経済的な方法で検討しました。

平成23年度の設計では、駅前広場のバス停やタクシーの乗降位置などの配置や出入口の位置など具体的な検討を行うことから、バス事業者や交通管理者と詳細な調整を行った結果、バスの円滑な運行や歩行者、車などの安全性の確保を図るため、仮設広場の切替回数の見直しが必要となりました。

(2) 変更となる内容

① 事業費の増加

事業費については、当初9.6億円を見込んでいましたが、軟弱な地層を強固にするための改良工事として約0.4億円、周囲の土砂崩壊防止の仮設工事についても、軟弱な地層に対する補強作業が増加することなどに伴い、約2.7億円の増加となります。

また、工事期間中の安全対策として、バス運行の円滑性や歩行者や車への安全性の確保のため、仮設広場の切替回数が増えたことから、仮設工事の増加などにより、約1.8億円が増加となり、合計で約4.9億円の事業費が必要となることから、総事業費として約14.5億円となります。

② 事業期間の変更 【図3】

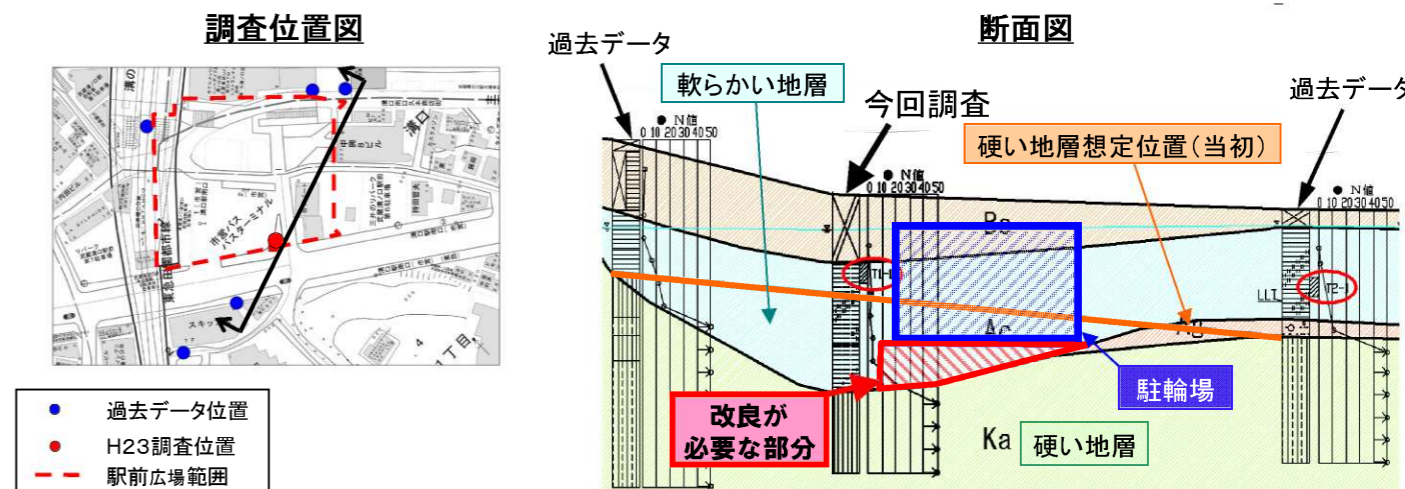
事業期間については、軟弱な地層の改良工事や周囲の土砂崩壊防止の仮設工事の作業量の増加に伴い期間が延伸となるほか、工事期間中の安全対策として仮設広場の切替回数が2回から4回になったことに伴う作業量の増加により期間が延伸となり、当初予定の平成25年度末の駐輪場の完成が、平成26年度末となります。

(3) 今後の対応

これまでも、設計において地盤改良工事については、複数の工法を経済性や施工性などの項目について比較するなど、事業費や施工期間を考慮しながら検討を進めてきましたが、今後も工事内容の精査を進め、事業費の縮減と工期の短縮に努め、駐輪場の早期完成を目指します。

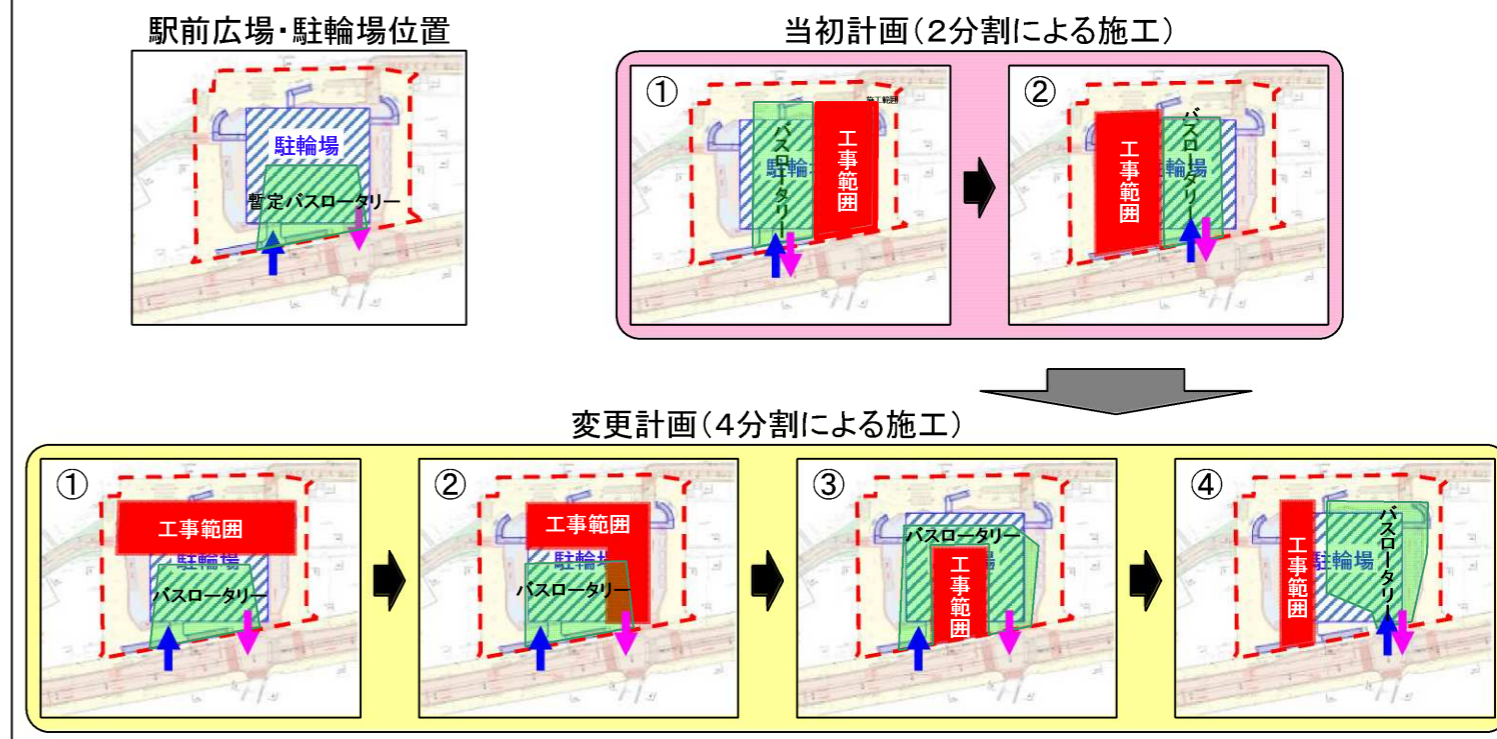
《図1 地質の影響》

ボーリング調査の結果、軟らかい地層が当初見込みより深かった。



《図2 工事期間中の安全対策》

バスの円滑な運行や、歩行者・車の安全性の確保のため、仮設広場の切替回数が増加



《図3 スケジュール》

年度	平成23年度	平成24年度				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
駐輪場	当初	設計 (4月)	発注準備 (7月)	整備工事(15ヶ月) (10月)	整備工事(15ヶ月) (1月)	供用			
	変更	設計	発注準備	整備工事(24ヶ月)	整備工事(24ヶ月)	供用			
駅前広場					当初	整備工事	供用		
						変更	整備工事	供用	